

あ い さ つ

千葉県学校事務研究協議会

会長 関口 晴彦

第 62 回千葉県学校事務研究協議会総会において会長に就任いたしました成田市立加良部小学校の関口晴彦でございます。これまで諸先輩方が長きにわたり積み上げて来られた成果や実績を引き継ぎ、会長の任を務めることに責任の重さを痛感しています。微力ではございますが誠心誠意努めさせていただく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

千事研は「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」をミッションに掲げています。その実効策である研究計画「ちば夢プラン (vol. 1)」では、研究テーマを「地域とともにある学校づくりと学校事務」とし、本年度は、地域協働へつながるための「事務組織」「キャリア形成」を中心に研究を推進していきます。同時に、2年間を追加研究「ちば夢プラン (vol. 1 ぷらす)」として、研究計画のまとめ、次期研究計画の策定も進めていきます。

昨年度の総会において千事研会則が改正され、本年度から新たな総会運営として代議員制での開催となりました。コロナ禍の3年間で変化した千事研活動の在り方や政令市との継続性のある組織体制の見直し、また、働き方改革による千事研運営の業務改善、会員アンケートからの要望など、様々な課題から前進する千事研組織として会則の改正を進めてきました。この代議員制により、各地区・支部から提起された会員の疑問や意見などを元に代議員による活発な意見交換・協議を通して、これまで以上に会員の思いや意見を反映した千事研事業へと発展させていきたいと考えます。

平成 29 年 4 月の学校教育法の一部改正により事務職員の職務規定が「事務をつかさどる」となり、共同実施が共同学校事務室として規定され7年が経過しました。事務職員には、より主体的・積極的に校務運営に参画することが求められ、学校の指導・運営体制を強化するとともに、マネジメント機能を一体的に推進することなど、その期待は大きくなっています。私たち事務職員が「つかさどる」職として、何が変わり、今後、どのような役割を果たしていくか、千事研の研究活動をと通して、改めて会員と共に考えていきたいと思えます。

千事研は、新しい時代の事務職員に求められる役割に対応していくため、組織として学び、成長し続けることで、千事研ビジョンである「子どもの豊かな育ちを支援し、地域とともにある学校づくり」の具現化を目指します。

今後とも会員の皆様の御協力と御支援をよろしくお願いいたします。